

2024年7月21日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第67巻第17号(通算3399号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう  
**週報**

教会標語

小さくされている人を  
大切に<sup>たいせつ</sup>する<sup>きょうかい</sup>教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切に<sup>たいせつ</sup>にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマの人々への手紙5:5)

せいれいこうりんせつ  
**聖霊降臨節**

だい しゅじつれいはい  
**第10主日礼拝**

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜんそう もくとう  
前奏(黙禱)

AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば  
招きの詞

ヨハネによる福音書

6章 32-33節

さんびか  
賛美歌

21-421番「ウリエイウツソン」(©教団出版局)

せいしょ  
聖書

ローマの信徒への手紙

14章 13-23節

いの  
お祈り

さんびか  
賛美歌

21-486番「飢えている人と」(©JASRAC)

メッセージ

「全ては平和のために」

牛田 匡 牧師

さんびか  
賛美歌

21-499番「平和の道具と」(©JASRAC)

しゅいの  
主の祈り

62番「天にいます わたしたちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

ささげもの  
献げ物(\*)

はけん  
派遣

21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅくふく  
祝福

牛田 匡 牧師

こうそう  
後奏

アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讚美歌委員会)

ほうこく  
報告

(4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\*受付に献金箱がございます。

「献げ物(献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。

まね  
ことば  
招きの詞

ヨハネによる福音書 6章 32-33節(聖書協会共同訳©日本聖書協会)

32b「よくよく言うておく。モーセが天からのパンをあなたがたに与えたのではない。私の父が天からのまことのパンをお与えになる。33神のパンは、天から降って来て、世に命を与えるものである。」

聖書 ローマの信徒への手紙 14章 13-23節(聖書協会共同訳©日本聖書協会)

13従って、もう互いに裁き合うのはやめましょう。むしろ、つまずきとなるものや、妨げとなるものを、きょうだいの前に置かないように決心しなさい。14私は、主イエスにあって知り、確信しています。それ自体で汚れたものは何一つありません。汚れていると思う人にとってだけ、それは汚れたものになるのです。15食べ物のために、きょうだい<sup>けが</sup>が心を痛めているなら、あなたはもはや愛に従って歩んではいません。食べ物<sup>けが</sup>のことで、きょうだいを滅ぼしてはなりません。キリストはそのきょうだいのために死んでくださったのです。16ですから、あなたがたにとって善いことが、そしりの種にならないようにしなさい。17神の国は飲み食いではなく、聖霊によって与えられる義と平和と喜びなのです。18このようにしてキリストに仕える人は、神に喜ばれ、また人に信頼されます。19だから、平和に役立つことや、<sup>a</sup>互いを築き上げるのに役立つことを追い求めようではありませんか。20食べ物のために、神の業<sup>わざ</sup>を無にしてはなりません。すべての物は清いのです。しかし、<sup>b</sup>つまずきを自覚しながら食べる者にとっては、悪いのです。21肉を食べず、ぶどう酒を飲まず、何であれ、きょうだいがつまずくことをしないことが良いことなのです。22あなたは自分の持っている<sup>c</sup>信仰を、神の前で持ち続けなさい。自ら良いと認めたことについて、自分を責めない人は幸いです。23しかし、疑いながら食べる人は、罪に定められます。信仰に基づいていないからです。信仰に基づいていないことはすべて、罪なのです。

(脚注 a：直訳「互いの建設に」、b：別訳「食べてつまずかせる者」、  
c：別訳「確信」)



## 《先週のメッセージより》7月14日 部落解放祈りの日礼拝

「恐れることはない」より

水谷憲牧師

聖書 ヨハネによる福音書 6章 16-21節

「恐れ」は最も基本的で原始的な感情だという。本日の聖書、イエス様が湖の上を歩くという話は、私たちの命の危機や自分の存在に関する「恐れ」について、神が私たちに何らかの示唆を与えているように思う。奇跡の 식사가終わり、夕方になったので、弟子たちは舟で湖の向こう岸へ行くために暗い中ガリラヤ湖に漕ぎ出した。すると、強い風が吹いて、湖が荒れ始めた。弟子たちは、命の危険や、暗闇の向こうで自分たちを待ち受ける何かに対する恐れでいっぱいであったろう。彼らの姿は私たちの姿と同じ。日曜日を終えてからの日常生活、私たちはキリスト不在の中でこの世の荒波を何とかして乗り越えようがんばっている。しかし、神やイエスは今おられないと思ひこみ、自分のことで精一杯になっているから、心配して様子見に近づいて来られるイエスの姿を、自分たちを襲う荒波と同様に見間違い、恐れてしまうのかもしれない。

しかし、恐れてはだめだ。確かにキリストは、世界中の数々の昔話や伝説が語るように、必ずしも私たちの望む姿で現れるとは限らない。時には敵の姿やみすぼらしい姿で現れ、私たちを試されることもあるが、しんどい時こそ、恐れずに周りをよく見たい。波は高くても、キリストはどこからか見てこちらに近づいておられるかもしれないから。そして私たちが自分たちの無力さを謙虚に受け入れて、むやみに自分でがんばろうとすることをやめた時、私たちは初めてそれぞれが直面している困難を乗り越えることができるだろう。なぜなら「弟子たちがイエスを舟に迎え入れようとする」と間もなく、舟は目指す地に着いた」と書いてあるから。彼らがイエスを舟に迎え入れ「たら」ではなく、迎え入れ「ようとしたら」その舟は目指す地に付くことができたのだ。結果は問題ではない。「自分で乗り越えなきゃ」という思い込みから解放された時、向こう岸に着くことは決定しているのだ。キリストが私たちと共にいて下さる限り、私たちに恐れるものは何もない。

本日は、部落解放の祈りの日。私が出会ってきた人々は、差別の苦しみに悔しい思いをしつつも暴力に訴えることなく、人として当たり前生きていきたいという願いをもった人々だった。そういう出会いをすることなしに、ただ噂話やネットの適当な情報に振り回され踊らされて、何がしかを知ったかのように振舞う姿は滑稽でしかない。私たちは日常の中で知らぬうちに、もっともな理由をつけて誰かを差別して遠ざけてしまっているかもしれないが、直接顔を合わせてつながることで、恐れからも差別からも互いに解放されてゆきたい。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 7月14日

礼拝出席 大人3名 献金 大人3,000円 中継視聴者数2回 感謝

◎次週 2024年7月28日(日) 聖霊降臨節第11主日礼拝

招きの詞 箴言 9章 1-5節

聖書 コリントの信徒への手紙I 11章 17-29節

メッセージ 「私を思い出してください」牛田匡牧師

賛美歌 21-524番 (©P.D.)、21-81番 (©JASRAC)、21-553番 (©出版局)

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」は、ホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・本日、礼拝後に釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行って、いこい食堂にお届けして、お配りする予定です。どなたでもご参加ください。男性物の衣類と、梅干しの献品を頂きました。どうもありがとうございました。
- ・7月26日(金)18時から、東梅田教会(大阪メトロ「扇町駅」「東梅田駅」、JR「大阪駅」下車・徒歩)にて、「戦争プロパガンダの恐ろしさ ポスター・雑誌・映画による民衆操作」の講演と展示会が開催されます。講師は元大阪府立高校教員の河田隆史さんです。なお、河田さんがこれまで集めてこられた戦争プロパガンダのポスターや雑誌などは、26日(金)~28日(日)の10時~18時まで会場に展示されています。講演会も展示会も入場無料です。どなたでもご参加ください。
- ・7月27日(土)10時半から12時半にかけて、在日大韓基督教会・布施教会(地下鉄・小路駅より徒歩3分)にて、韓日教会女性交流会「虹の会」が開催されます。テーマは「祈り合いながら、豊かな実を結びましょう ~主にあって輝く命~」で、難病や障がいを持つ赤ちゃんの帰ることのできる家「小さな命の帰る家」の代表を務める松原宏樹牧師によるお話があります。参加費は無料です。どなたでもご参加ください。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
7/28	牛田匡牧師	誕生者祝福式
8/4	牛田匡牧師	(平和聖日) ユウカリスト
8/11	水谷憲牧師	
8/18	牛田匡牧師	おにぎり支援



**韓日教会女性交流会**

**第32回 虹の会**

**主題:「祈り合いながら、豊かな実を結びましょう」**  
~主にあって輝く命~

**講師: 松原宏樹牧師(小さな命の帰る家)**

日時: 2024年7月27日(土) 10:30~12:30  
場所: 在日大韓基督教会 布施教会  
主催: 在日大韓基督教会関西地方教会女性連合会  
日本基督教団大阪教区教会婦人会連合



**松原宏樹牧師 プロフィール**  
1968年生まれ。  
関西聖書学院卒  
日本バプテスト連盟の牧師として  
29年間仕える。  
22年より難病、障がいの赤ちゃんの  
帰ることのできる家「小さな命の帰る家」を  
設立し代表を務める。

参加希望の方は田川の携帯(別紙記載)または  
他委員に7月10日までにお知らせください。  
ZOOM参加は教会単位のみとなります。参加  
希望の教会に後ほどIDをお伝えします。

**布施教会へのアクセス**  
〒544-0003 大阪市生野区小路東2丁目7番5  
☎ 06-6754-0972  
地下鉄千日前線、小路駅3出口から徒歩約2分

マスク着用でご参加ください。

↓近鉄大阪線

↑小路駅前◎

内  
境  
状

◎↑小路駅前  
◆布施教会  
◎からやま 食堂

**講師紹介**

